

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
選択ダンススキル10											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	IYO-P			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
舞台・コンサートツアーにて振付師・ダンサーとして活動中。Bugs Under Grooveメンバー。ミュージカルでは 新テニスの王子様・テニスの王子様・あんさんぶるスターズ！！・ノスタルジックワンダーランド・しゃばけpresentsシャイニングモンスター 他、ライブでは安室奈美恵・華原朋美・関ジャニ∞・ジャニーズWEST・LE VELVETS・MAMAコンサート・石丸幹二・松下優也・米米CLUB・渡辺美里・藤井隆・SMAP 他、ダンサー、振付師として活躍。・											
授業概要											
この科目ではJAZZダンス中上級のダンススキルの強化を行います。基本動作（プリエ、タンジェ、ルルベ、ロンデジャンプ）からターン、クロスフロアーの動作を理解したうえで振付を通して表現力を学びます。またプロダンサーとしての様々な楽曲に対してのアプローチ方法や、技術的、表現力的な対応力を養う事を目的とします。											
到達目標											
この科目ではバックダンサー、テーマパーク、ミュージカル等オーディション対策となるJAZZ基礎の強化およびJAZZダンス中上級のコンビネーションの習得を目標とします。エンターテインメントの世界で最も必要とされるJAZZダンスの基本動作を理解した上で、学生それぞれの個性を表現できるダンサーとしての軸を強化します。											
授業方法											
この科目では毎回エクササイズ、ストレッチによる基礎体力作り、クロスフロアーを中心とした基本技術練習を行います。そのうえで振付けによるコンビネーションや表現練習を細かく指導していきます。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
ストレッチ、授業で習った動きの復習をした上で授業に臨む事。体のラインが解る服装で受講する事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	JAZZ基礎の確認①/プロダンサーガイダンス（ストレッチとエクササイズ、体幹トレーニング）										
第2回	JAZZ基礎の確認②/基本動作（プリエ）と気を付けるべきポイントを押さえる										
第3回	JAZZ基礎の確認③/基本動作（タンジェ）と気を付けるべきポイントを押さえる										
第4回	JAZZ基礎の確認④/基本動作（パッセバランス）の演習と修得										
第5回	JAZZ基礎の確認⑤/基本動作（ルルベ）の演習と修得										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
選択ダンススキル10	
第6回	JAZZ基礎の確認⑥/基本動作（ロンデジャンプ）
第7回	JAZZ基礎の確認⑦/ターンコンビネーションの実演及び表現の研究
第8回	クロスフロアーの確認①/（ピケ）を使ったクロスフロアーの動作を理解し、実践・習得する
第9回	クロスフロアーの確認②/（にシエネ）を使ったクロスフロアーの動作を理解し、実践・習得する
第10回	クロスフロアーの確認③/（ピルエット）使ったクロスフロアーの動作を理解し、実践・習得する
第11回	クロスフロアーの確認④/（アクセルジャンプ）を使ったクロスフロアーの動作を理解し、実践・習得する
第12回	クロスフロアーの確認⑤/（ジャンプ&ターン）を使ったクロスフロアーの動作を理解し、実践・習得する
第13回	クロスフロアーの確認⑥/ピケ〜ジャンプ&ターンまでの連続動作を実践・習得する
第14回	応用コンビネーション①-1/基本動作およびクロスフロアーを用いた振り付けの習得
第15回	応用コンビネーション①-2/振り入れおよび歌詞、表現方法指導を理解する